

ビジネスモデルを科学する 第3回プロジェクト報告

A Scientific Approach on the Business Model

「ビジネスモデルを科学する」
プロジェクトリーダー

野地 保

プロジェクト幹事団

片岡信弘 堀米明 黒瀬晋

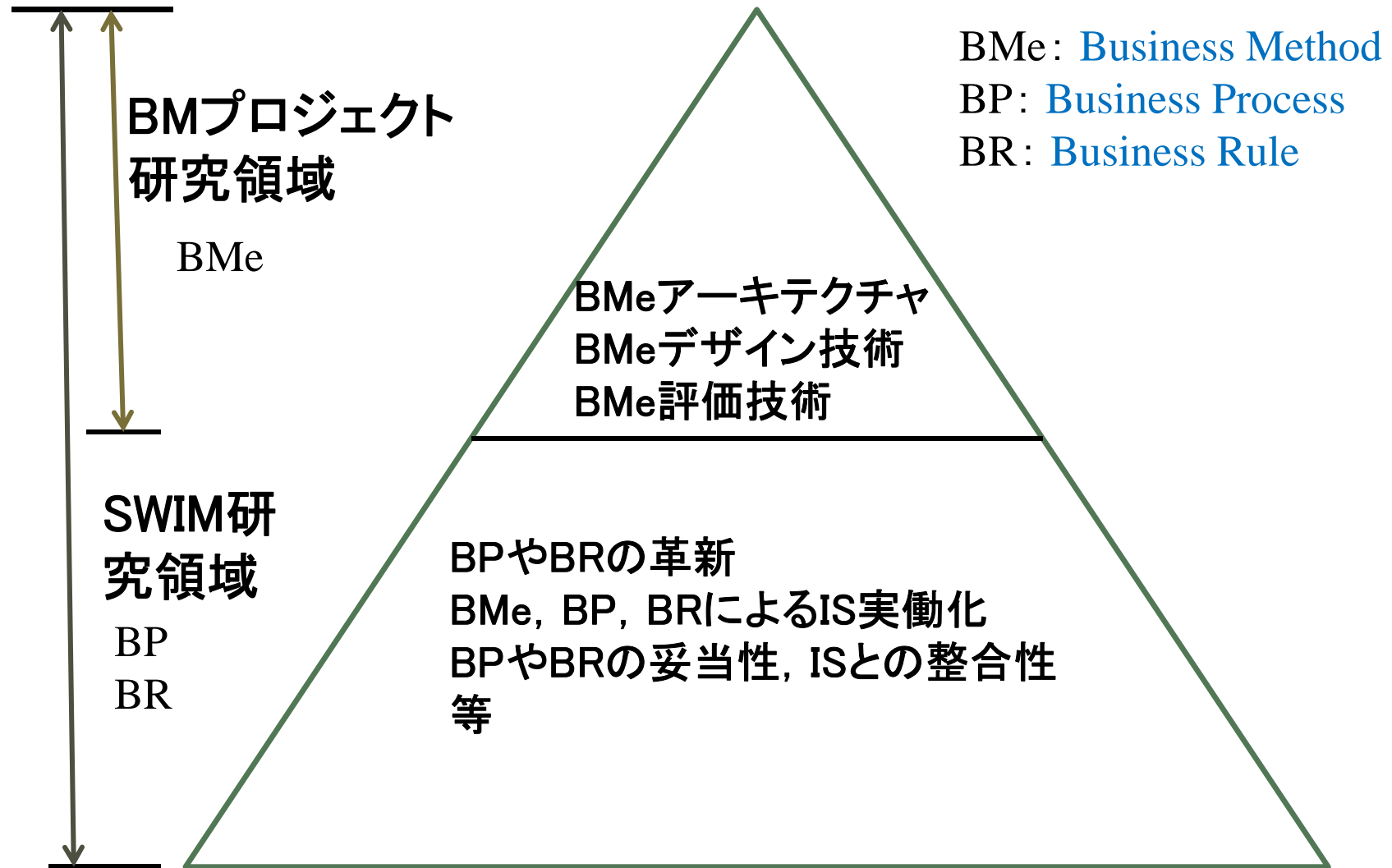
Contents

1. プロジェクトの活動ステップ
2. 現在の活動テーマ
 - 2.1 ビジネスモデルのパートンの分類
 - 2.2 ビジネスメソッドの類型化の検討
3. 今後の活動予定

1. プロジェクトの活動ステップ

- ステップ1 (現時点)
 - ◆ ビジネスメソッドのモデル化の検討
 - ◆ 世の中のビジネスメソッドを収集し, 類型化し, モデル化を検討する.
- ステップ2
 - ◆ モデルのアーキテクチャとデザイン技術の検討
- ステップ3
 - ◆ デザイン技術に基づき, ビジネスメソッドの生成の試みを行う
- ステップ4
 - ◆ 生成されたビジネスメソッドやデザイン技術の評価技術の検討
- プロジェクトは2年間で予定

SWIMとプロジェクトの研究領域



ビジネスメソッドとは

- ビジネスから戦略等の部分を取り除いた
中核部分の儲ける仕組み

2. 現在の活動テーマ(ステップ1)

- ビジネスメソッドのモデル化の検討
 - ◆ 世の中のビジネスメソッドを収集し, 類型化し, モデル化を検討する
- 対象ビジネスメソッドはビジネスの核となるもの
- ビジネスモデルと切り離しては考えられない
 - ↓ ↓
- ビジネスモデルの分類に合わせてビジネスメソッドの類型化を考える
- オスターワルダのビジネスモデル・ジェネレーションを利用して下記の二次元で整理
 - ◆ ビジネスモデルパターン
 - ◆ ビジネスモデルキャンパスの9つの構築ブロック

表2 分類対象としたビジネスメソッド

連番	メソッド名	連番	ソッド名
m1	空駐車場の一日単位貸し出し	m11	コレクトスプリットサービス
m2	スマホ口座開設書類自動作成	m12	登録無料求人サイト
m3	ケイタイ番号振込み	m13	肌チェックアプリ
m4	ウェザレポート	m14	FaceBookオークション
m5	PayPal	m15	B-TAG
m6	タクシー会社電話番号から住所判別	m16	顔認証テレビ
m7	Gポイント	m17	顔認証支払い
m8	スマートメータによる自動節電	m18	マネーフォワード
m9	健康情報自動収集	m19	Tシャツデザインクラウド公募
m10	送金機能付き電子マネー	m20	クラウドファンディング

類型化のステップ

- ビジネスモデル・ジェネレーションを参考にして分類
 - ◆ ビジネスモデルのパターンを縦軸
 - ◆ キャンパスの9つの構築ブロックどこに一番関係するかを横軸
- 元々の分類
 - ◆ アンバンドル, ロングテール, マルチサイドプラットフォーム, フリー戦略, オープンビジネス
- 分類として下記を追加
 - ◆ 垂直統合, 成功報酬, クラウド:大衆の力, 付加価値提供, 異業種参入, CR(カスタマーリレーション)改善, 水平統合
- 分類数が多いことは望ましくないのでどこかで集約する必要がある

表3 ビジネスメソッドの分類結果

項 番	ビジネスモデルのパターン	ビジネスキャンパス構造での改革点								
		A. パート ナ	B. 主要 活動	C. リソー ス	D. 価値 提案	E. 顧客 との関係	F. チャネ ル	G. 顧客セ グメント	H. コスト 構造	I. 収益の 流れ
1	アンバンドル -顧客 -製品 -インフラ		m7							
2	ロングテール -少ないものの多品種販売									
3	マルチサイドプラットフォー ム				m1, m5 m8, m9		-	m14		
4	フリー戦略 フリーミアム									
5	オープンビジネス									
6	垂直統合		m11		m15					
7	成功報酬									12m
8	クラウド大衆の力を利用								m4	
9	付加価値提供		m3, m11		m15, m18 m13					
10	異業種参入		m10							
11	CR改善					m17				
12	水平統合									

ビジネスメソッドモデル化の検討

- 検討ステップ1
 - ◆ 類型化の検討-同じような動きをするものの分類
 - ◆ ビジネスモデルキャンパスの中でどのような動きをするかを明確とする
- 検討ステップ2
 - ◆ **ビジネスメソッドの部分**を判別する
 - ◆ IDEF0の手法に基づきIN, OUT, 制御情報, メカニズムを記述しビジネスメソッドの動きを明確とする
- 対象とした事例はビジネスモデルのパターン
1,3,6,8,9,10,11に対して一つずつのメソッド事例
- 課題 ビジネスモデルキャンパスで表現した時どの部分が**ビジネスメソッド**を表す必要がある

図1 m7 Gポイント

項番 1.アンバンドル-顧客ビジネス ポイント業務に特化

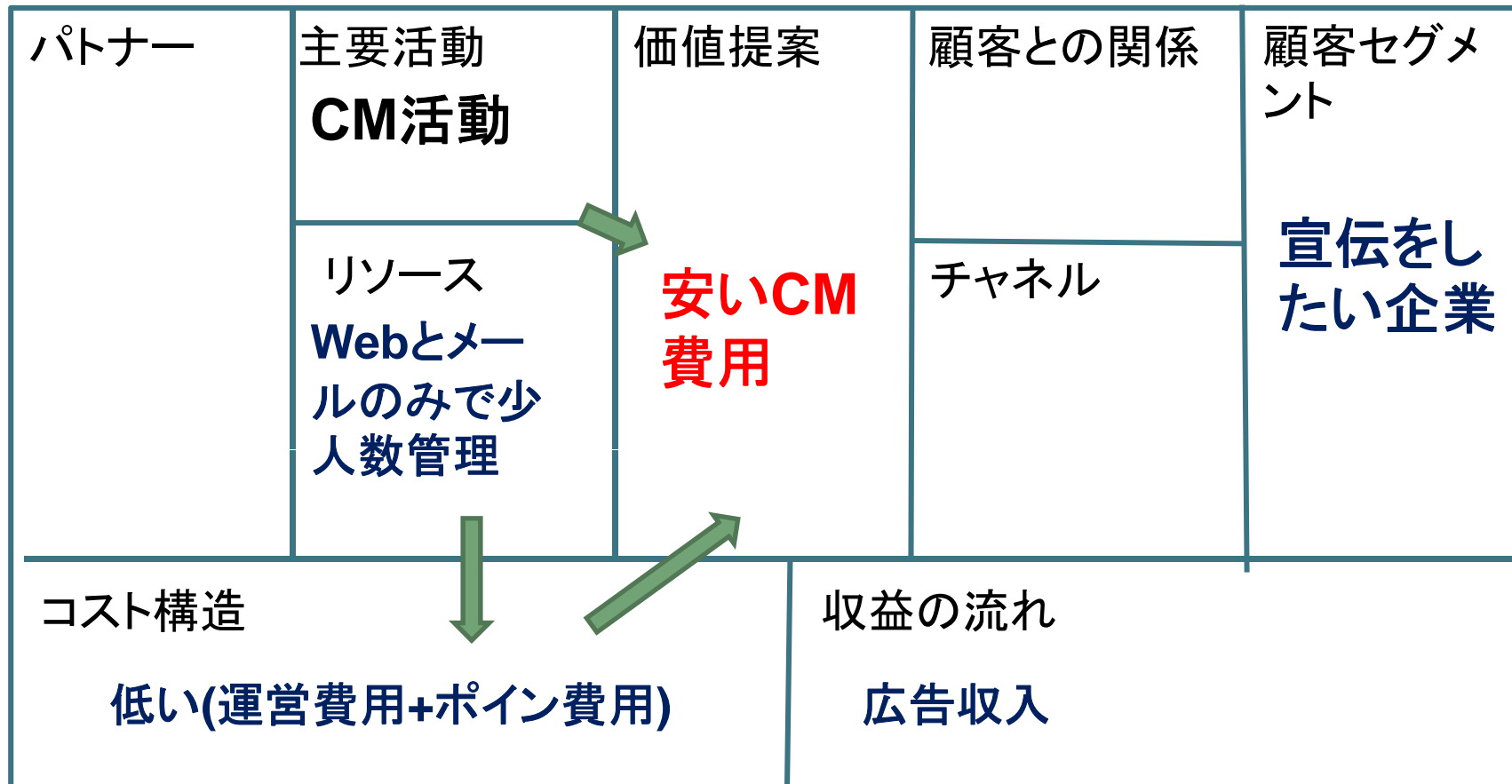


図2 m7 IDEF0によるビジネスメソッド構造表現 Gポイント

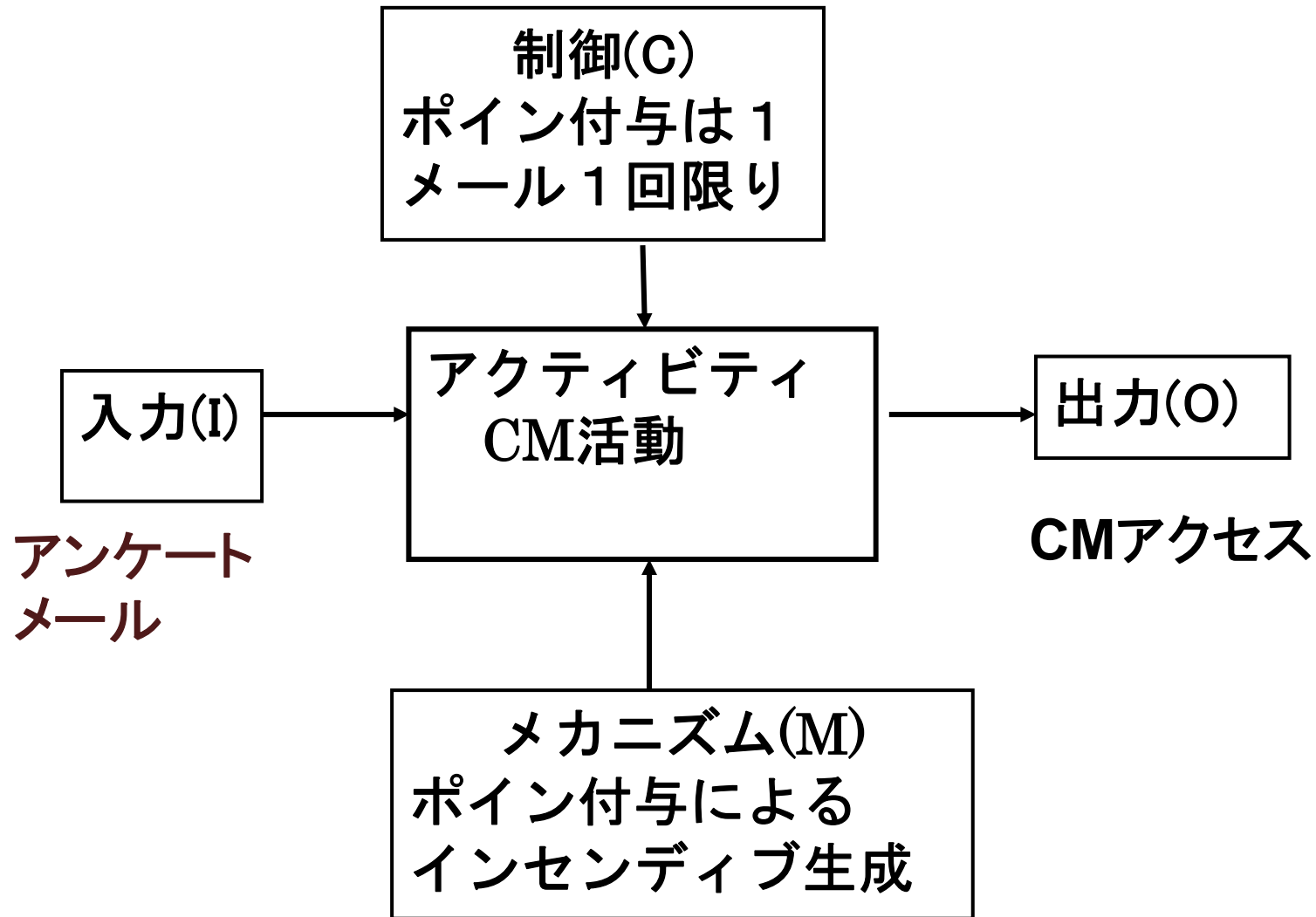


図3 m1 庭先駐車場の一日単位貸し出し

項番3. マルチサイドプラットフォーム C to C

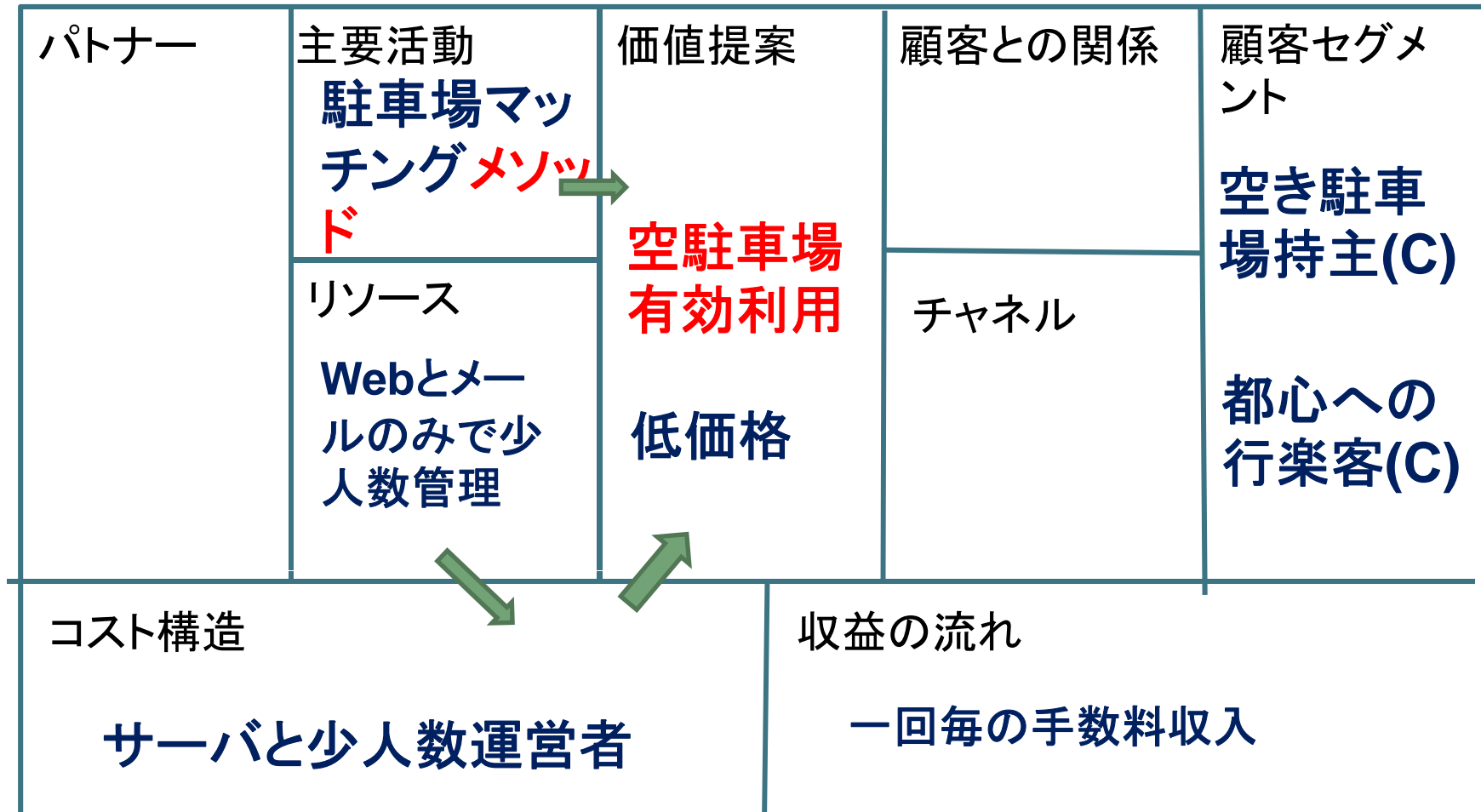


図4 IDEF0による構造表現 庭先駐車場の一日単位貸し出し

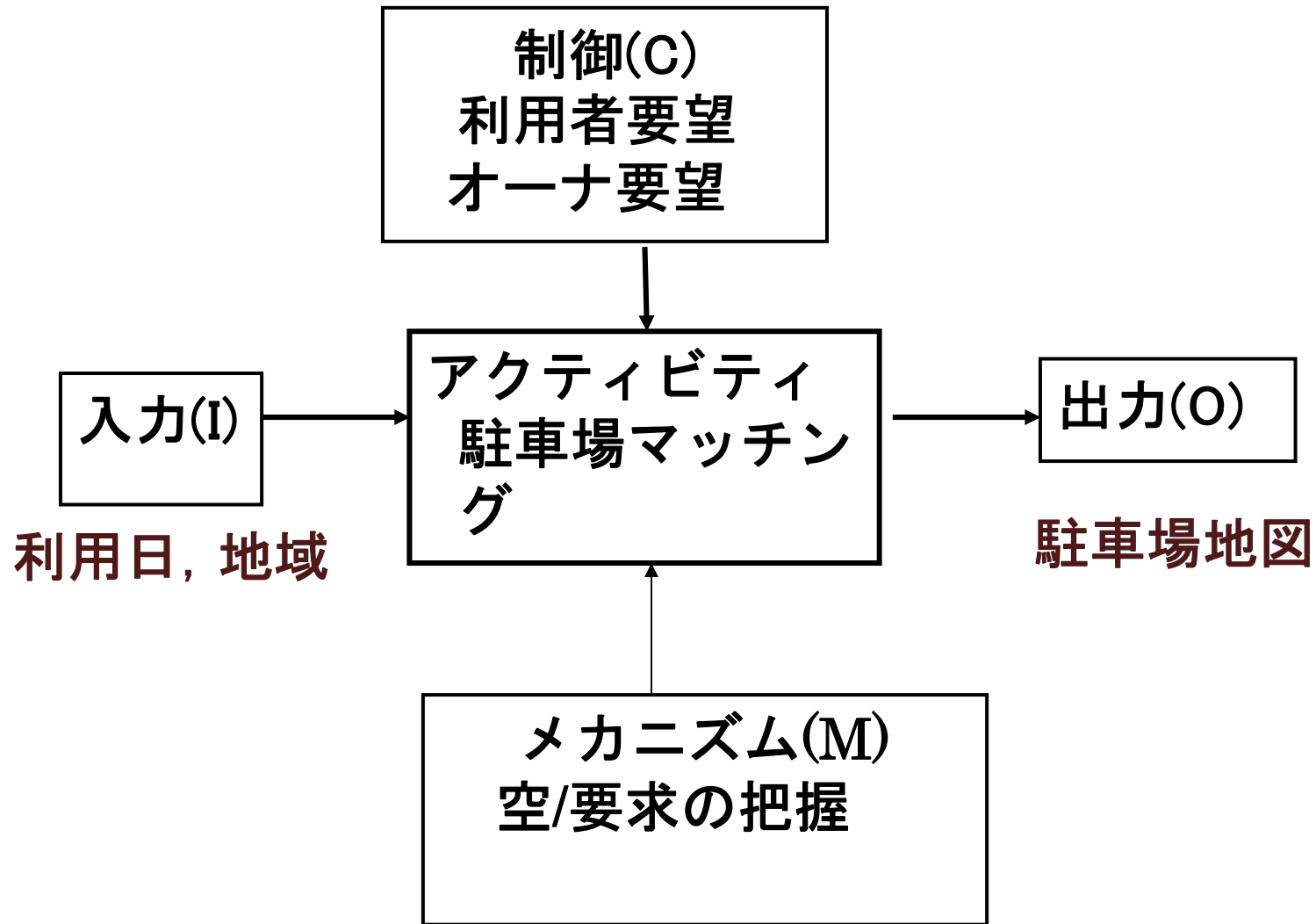
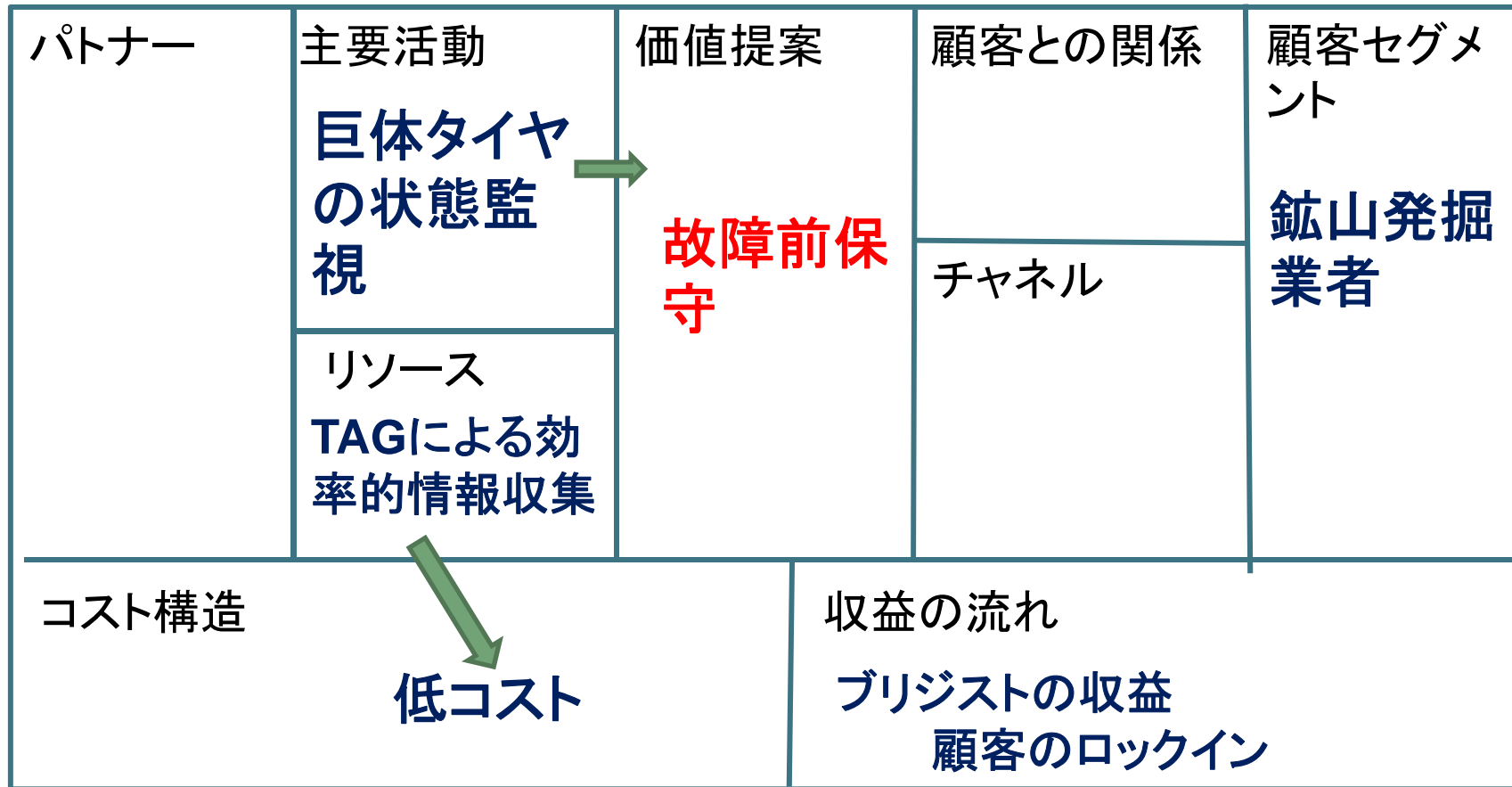


図5 m15 B-TAG

項番6 垂直統合 製造業のサービス業 -新たなソリューションビジネスの展開-



<http://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2012092601.html>

図6 IDEF0による構造表現 B-TAG

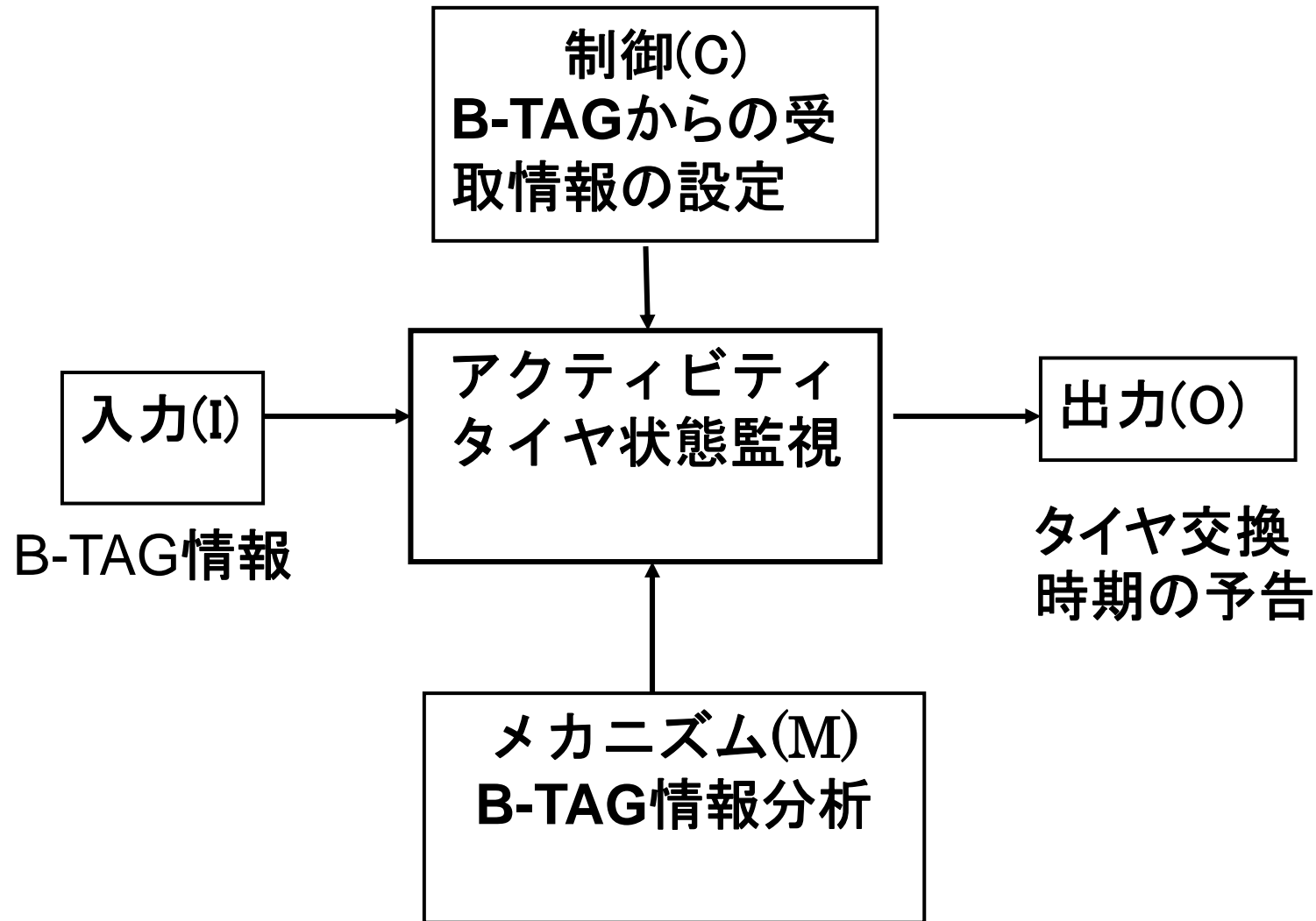


図7 m4 ウェザレポート

項番8 クラウド: 大衆の力

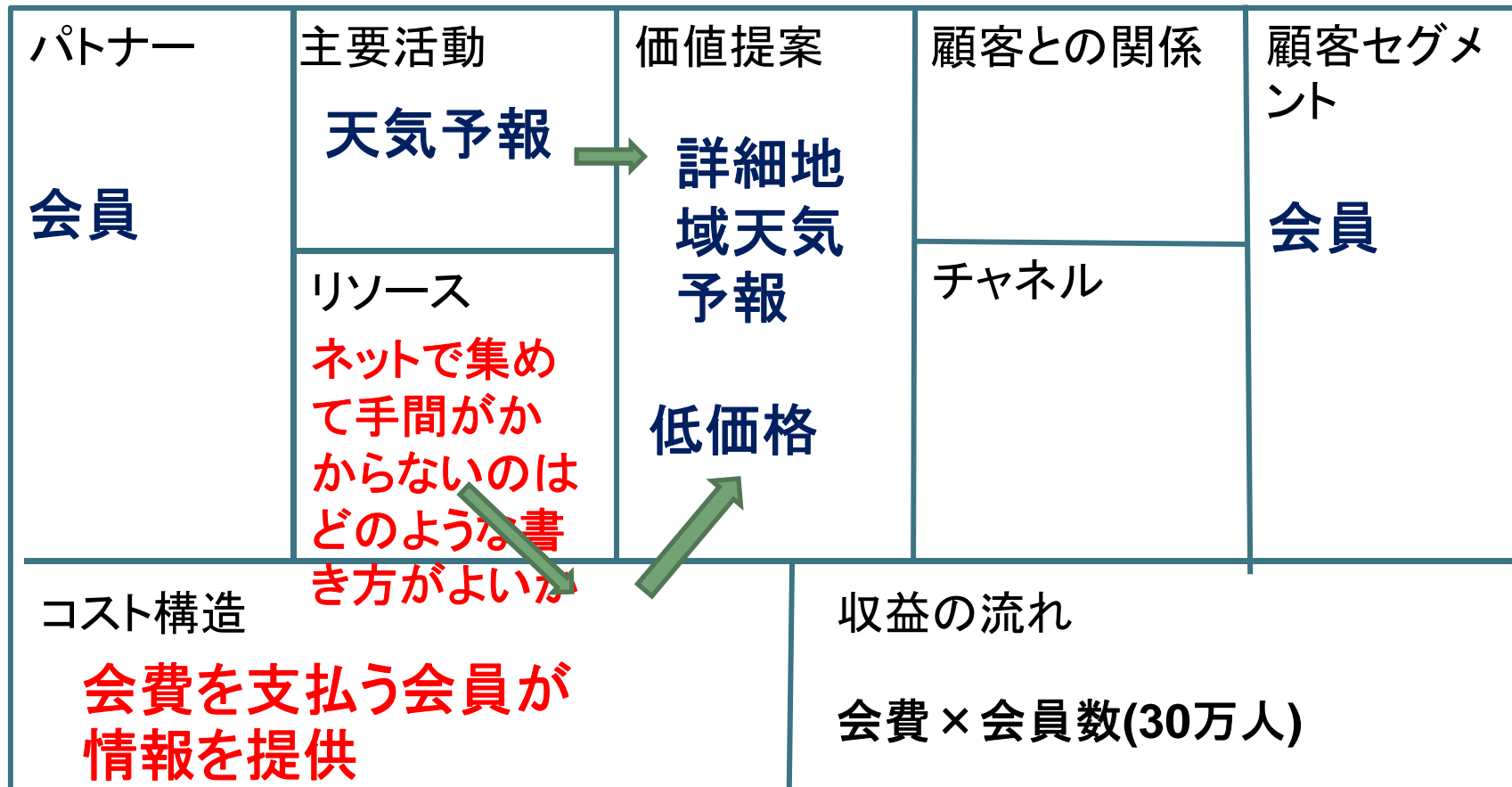


図8 IDEF0による構造表現 ウェザレポート

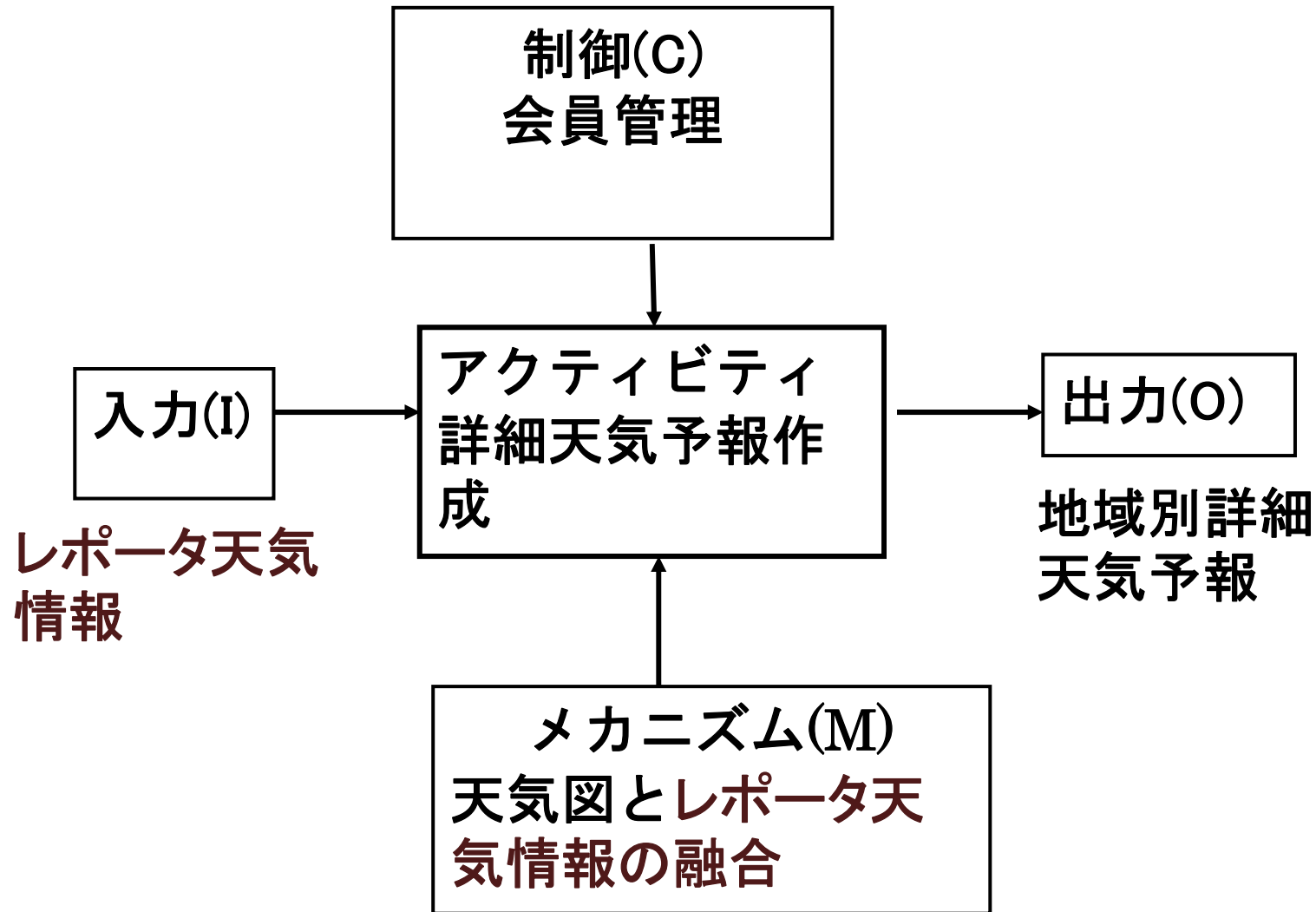


図9 m11コレクトスプリットサービス

項番9 付加価値提供, マルティサイドプラットフォーム

パートナー	主要活動	価値提案	顧客との関係	顧客セグメント
	リソース		チャンネル	
	宅配集金 分割振込	集金振り 分け		メーカー (仕入先)
	既存リソー ス活用			販売店
コスト構造			収益の流れ	
宅配集金振込みの振り分けの 手間分増加			宅配集金手数料	

図10 IDEF0による構造表現 コレクトスプリットサービス

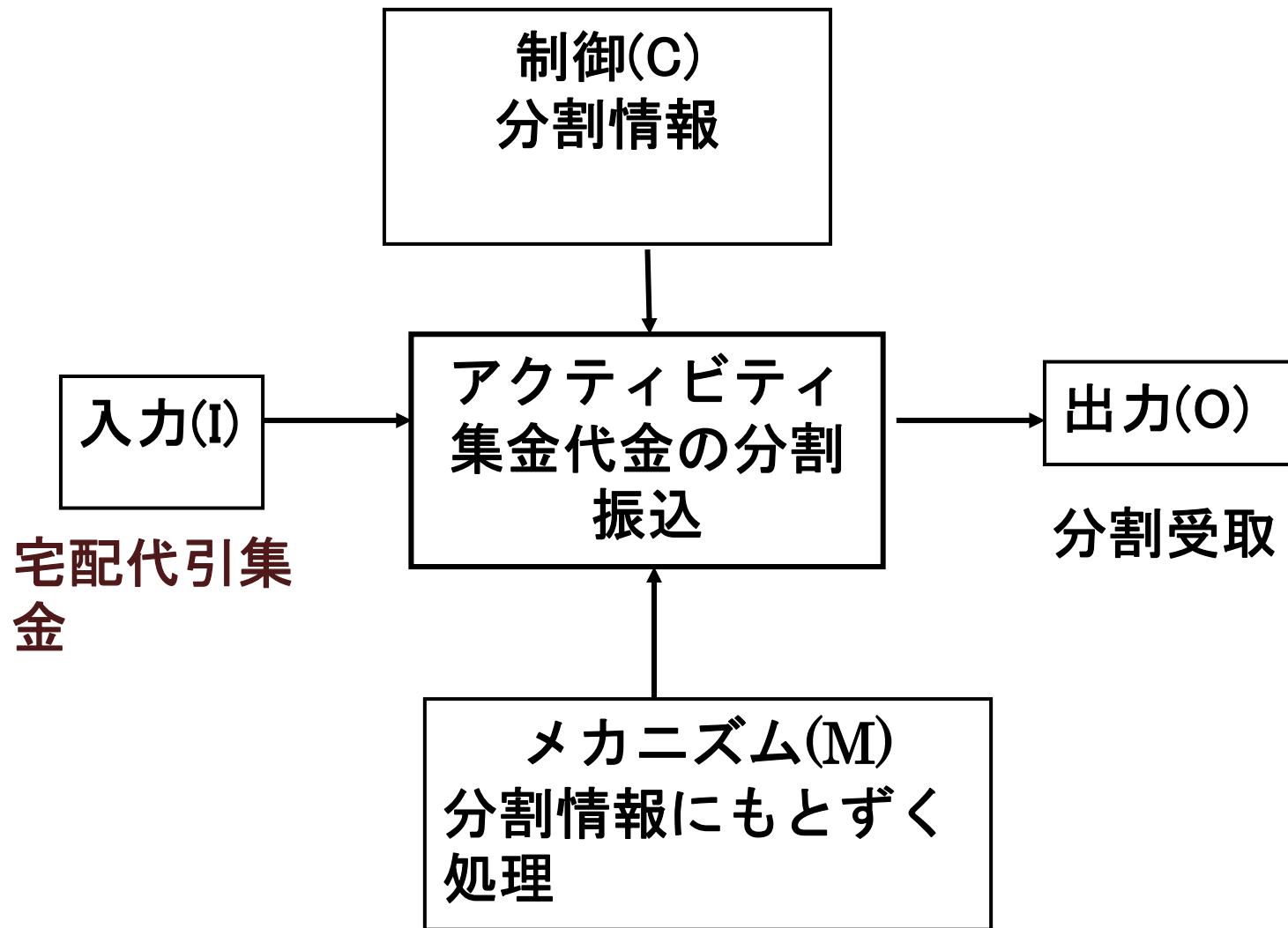


図11 m10 送信機能付き電子マネー

項番10 異業種参入 電子マネーの銀行業務参入

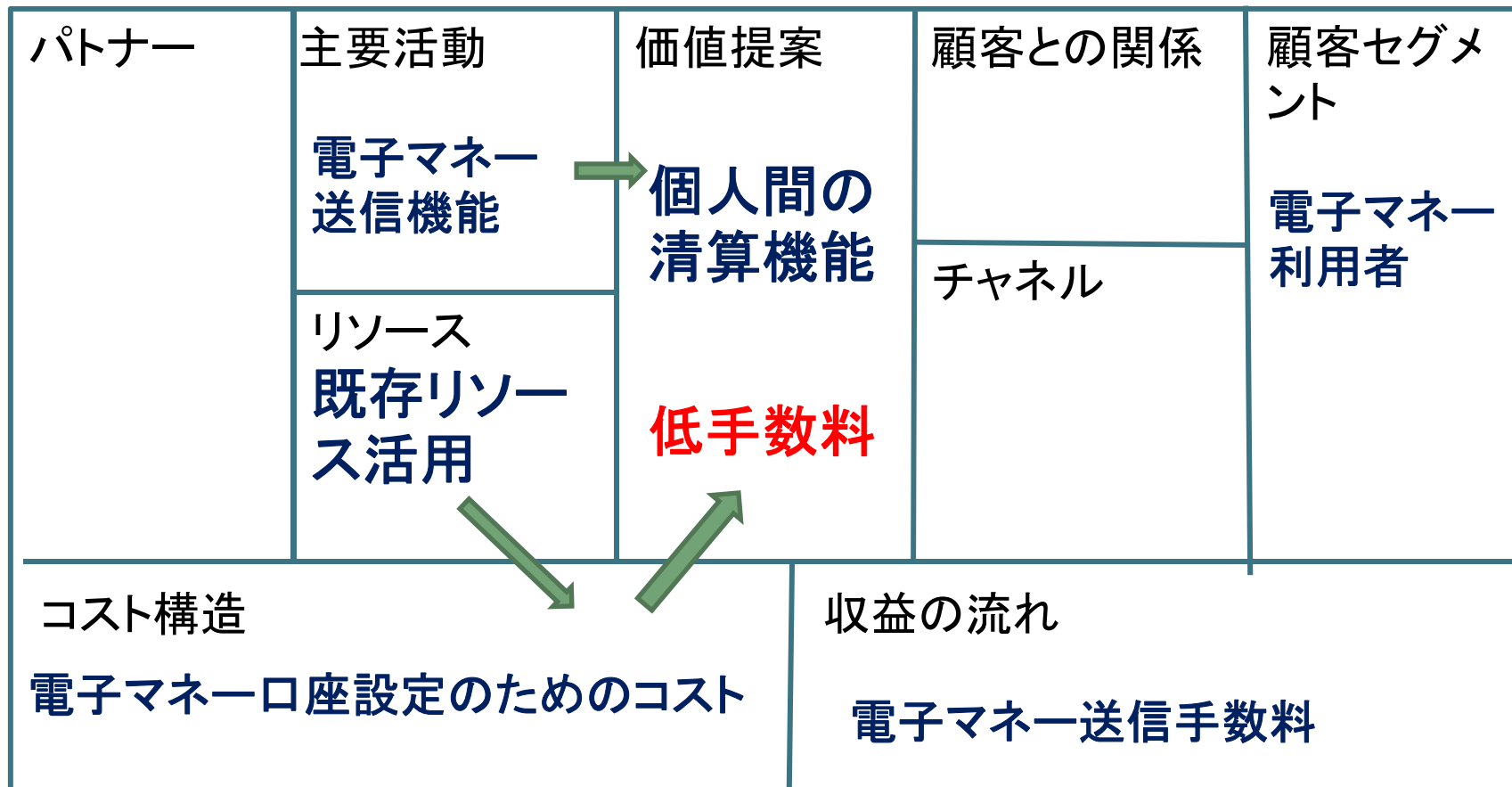


図12 IDEF0による構造表現 送信機能付き電子マネー

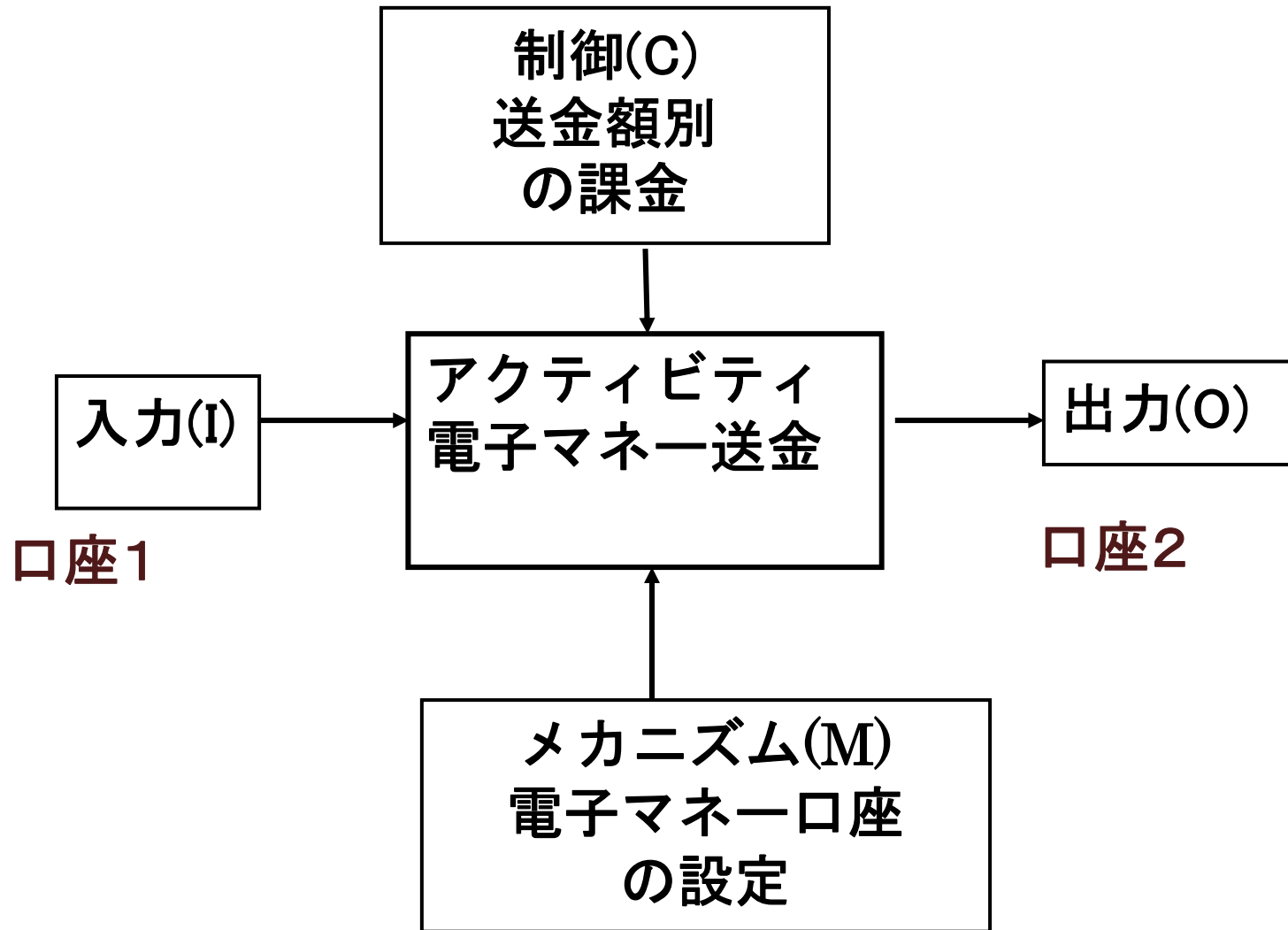


図13 m17顔認証支払い

項番11 CR改善

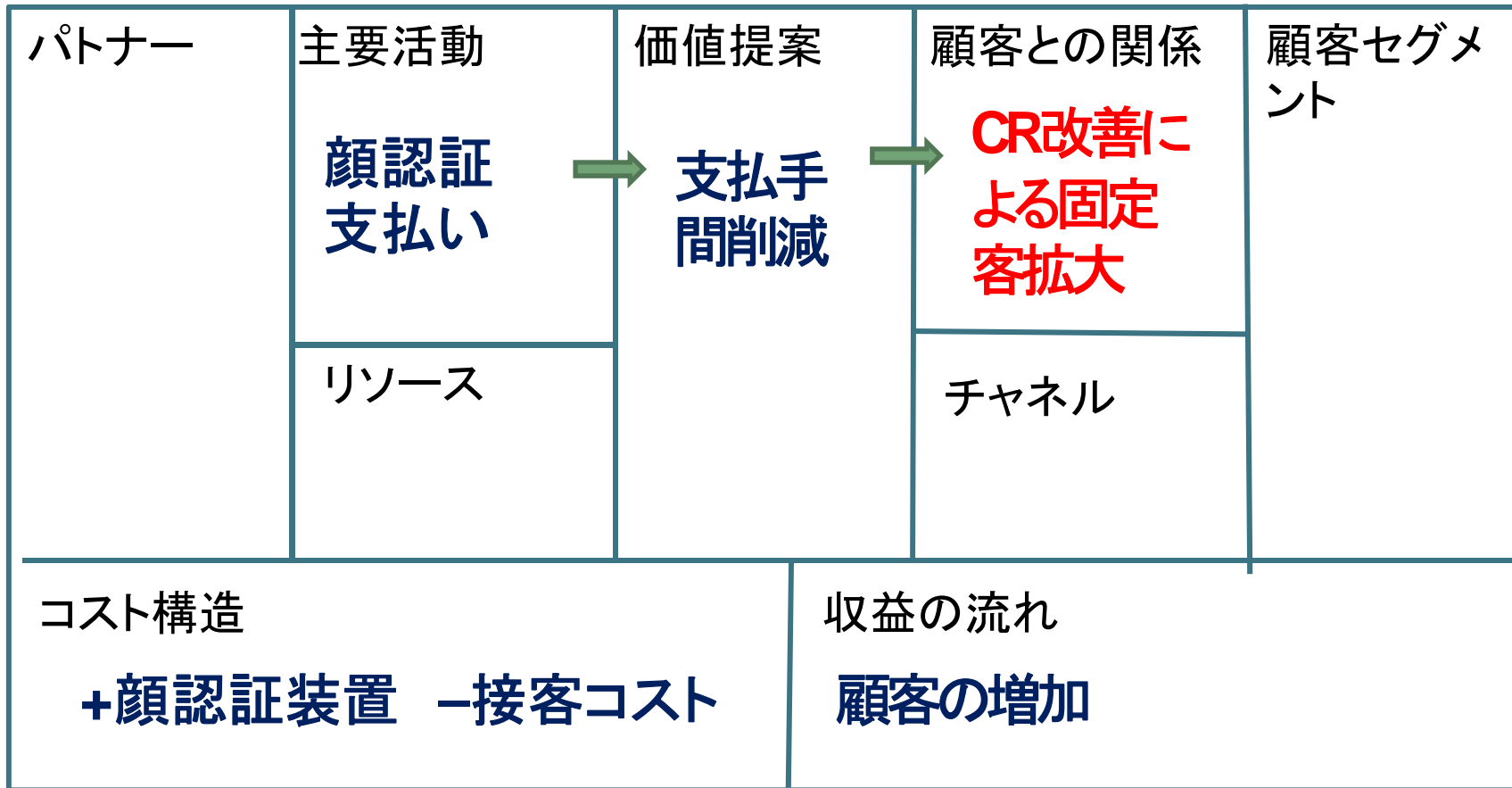
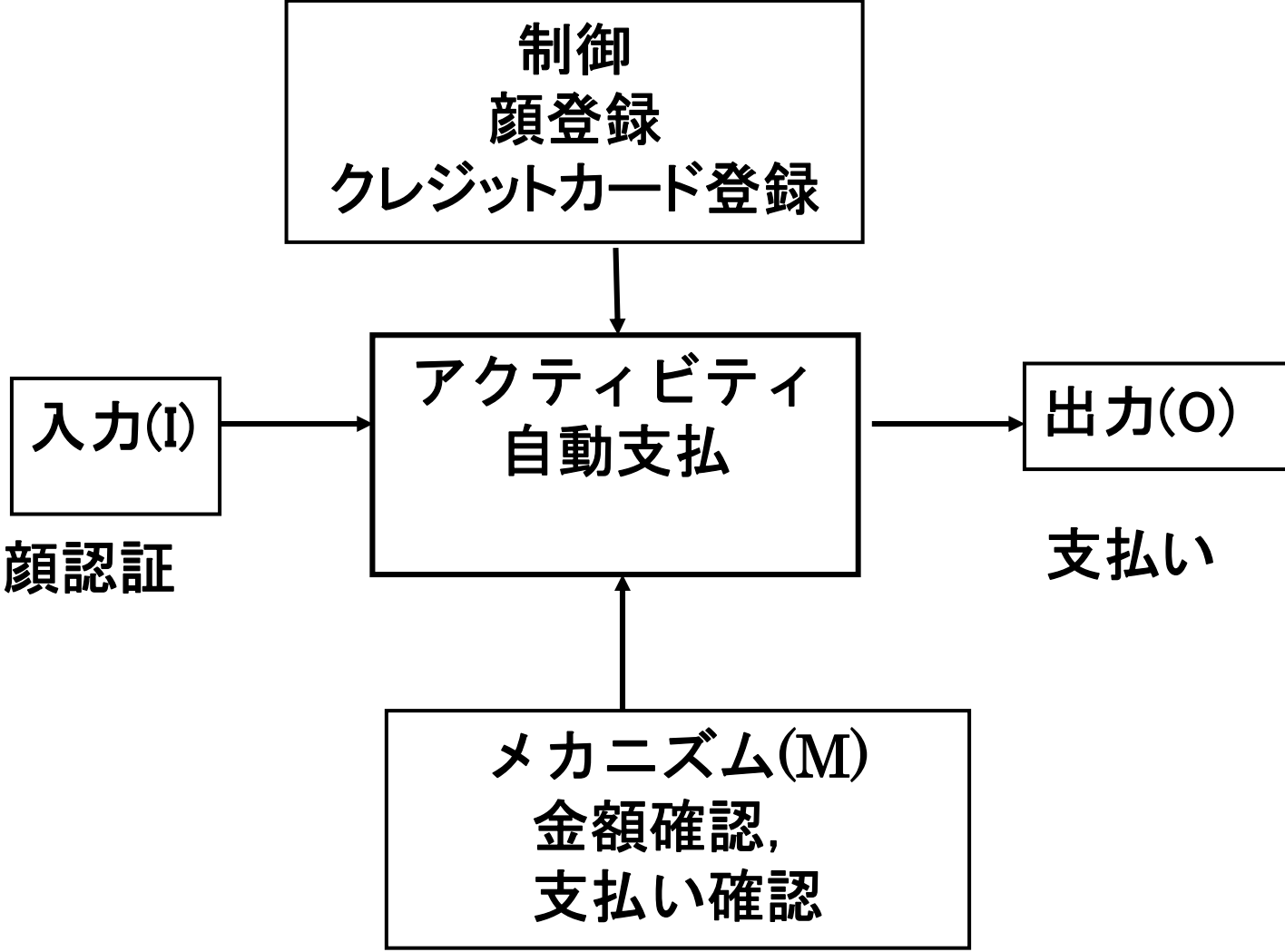


図14 IDEF0による構造表現 顔認証支払い



3. 今後の活動計画

- ビジネスモデルのキャンパスの各項目は最低埋める事例考える
- 表3の各列を最低一つは埋める事例を収集する.
- IDEF0での表現でビジネスメソッドを表現するとの妥当性の検討
- 上記によりビジネスメソッドのモデル化を進め, アーキテクチャの検討に繋げる.

謝辞

- 議論に参加していただいている「ビジネスモデルを科学する」プロジェクトのメンバーに感謝申し上げます

参考文献

- [1] 野地保, ビジネスモデルを科学するープロジェクト報告002ー, 信学技報, SWIM2012-29(2013-2), pp33-36
- [2] 幡鎌博, ビジネスモデルの動向とビジネス方法特許, 信学技報, SWIM2012-23(2013-2), pp1-6
- [3] オスターワルダー & イヴ・ピニユール, ビジネスモデル・ジェネレーション, 翔泳社, 2012
- [4] IDEF <http://www.idef.com/>

ご静聴有り難うございました。